みやきた新聞
平成26年9月17日
7・8月号
発行：宮古北高等学校

『みやきた新聞』は、地域の方々に宮古北高等学校をもっと知っていただくために、発行を開始した情報発信紙です。厳しい現状にも挫けず、今まで以上に勉強や様々な行事でイキイキと頑張っている生徒の姿をご覧ください。そして、今後も温かいご協力、ご支援をよろしく願いいたします。

全力で駆け抜けた夏

３校でつないだ貴重な一点

野球部　西和賀・宮古北・沼宮内連合

七月十五日（火）、岩手の高校野球の歴史に新たな一ページが刻まれました。全国高等学校野球選手権岩手大会の初戦に臨んだ「西和賀・宮古北・沼宮内連合」夏の岩手大会では初となる三校連合チームは、初戦突破という大きな目標を達成すべく、盛岡第三高校に挑みました。序盤から大きくリードされる苦しい展開でしたが、選手たちはあきらめずに白球を追い、四回表には、三校の選手がヒットをつなぎ、貴重な一点をもぎ取りました。スタンドには、三校の全校生徒、それぞれの地域で野球部を応援されている方々が集まり、ひとつになって熱い声援を送り続けました。

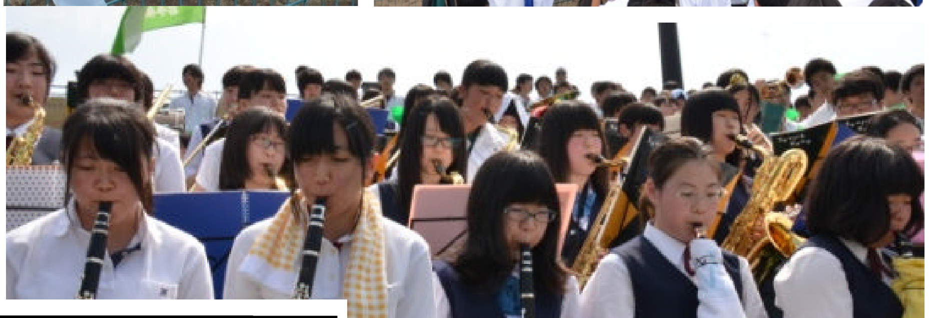
７月１５日（火）岩手県営野球場　第一試合

	1	2	3	4	5	計
西和賀・宮古北・沼宮内連合	0	0	0	1	0	1
盛岡第三高校	7	1	2	3	×	13

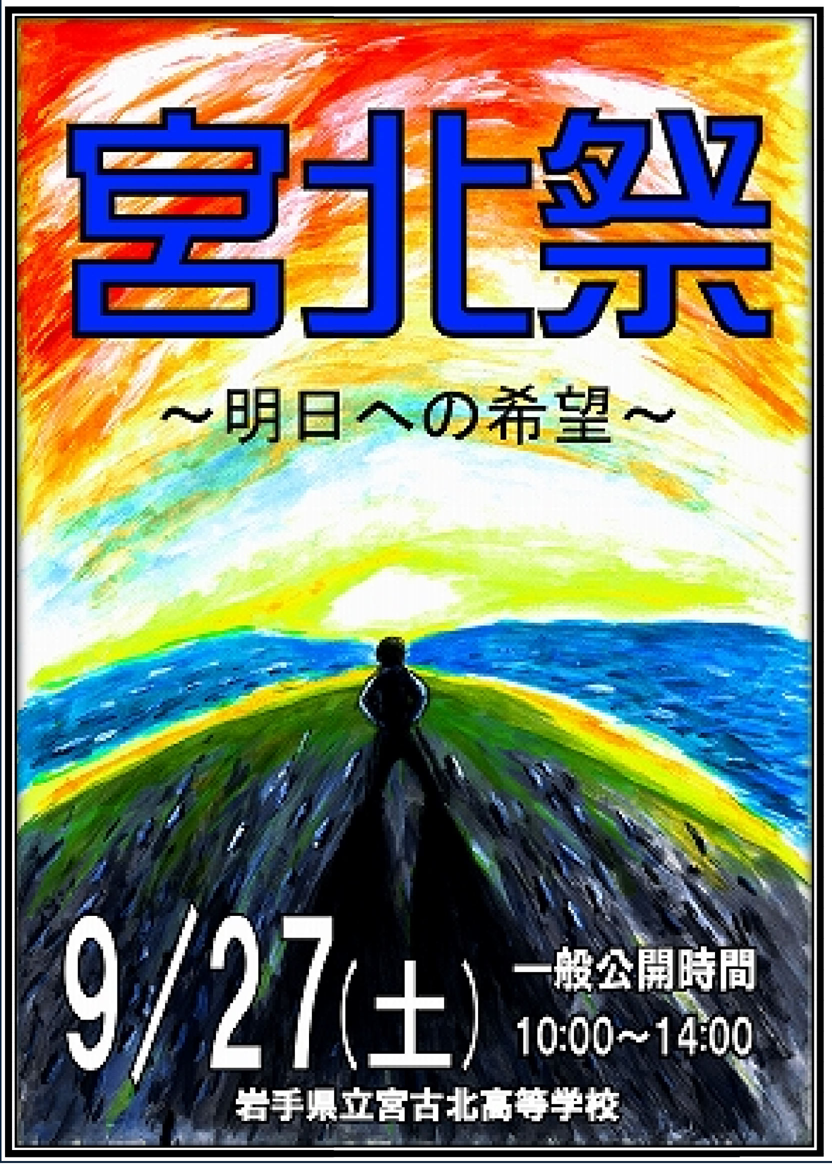
（5回コールド）

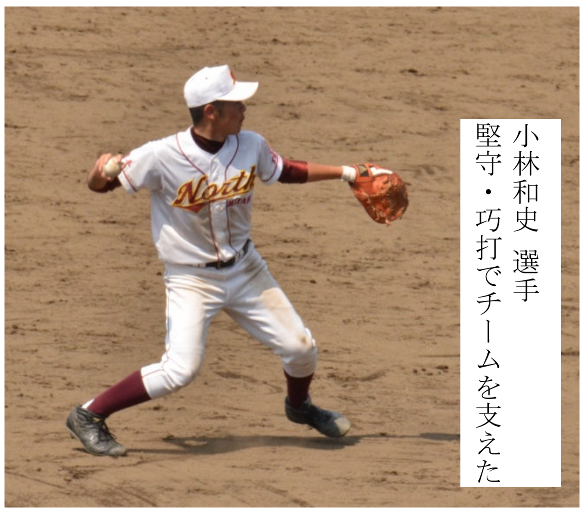
中村勇斗　選手
四回にタイムリーヒットを放つ

金澤駿輝　主将（右）
野球に掛ける強い思い



吹奏楽も３校連合


宮北祭
～明日への希望～
9/27(土)
一般公開時間
10:00～14:00
岩手県立宮古北高等学校



小林和史　選手
堅守・巧打でチームを支えた

スタンドには３校の団旗が並んだ

吹奏楽部合同演奏会

愛知 × 岩手
ff fortissimo

名城大学附属高校・宮古北高校
フレッシュな共演に大きな拍手

　愛知県名城大学附属高校吹奏楽部が、この夏、岩手県を訪れ「交流演奏ツアー」を行いました。七月二十七日（日）には、グリーンピア三陸みやこ体育館を訪れ、本校吹奏楽部とジョイントコンサートを開催しました。当日の限られた数時間でリハーサル、そして本番を迎えましたが、名城高校の皆さんの元気よく全身で音楽を表現する姿に、本校吹奏楽部員も大きな刺激を受け、いつも以上に生き生きとした表情で演奏していました。会場には仮設住宅にお住まいの方をはじめ地域の方々にご来場いただき、愛知と岩手の高校生が奏でる迫力のサウンドに最後まで惜しみない拍手を送っていました。

【生徒の感想】

あれだけの大人数で演奏することはめったにないので良い経験になりました。一緒に演奏できてとても楽しかったです。（二年　畠山莉香）

名城高校のみなさんに明るく接してもらって、不安がとれて、楽しく演奏できました。（二年　及川輝美）

演奏の技術、表現の仕方、とても良い刺激になりました。今後の活動に活かしていきます。（一年　加藤穂乃佳）

明るくて元気なあいさつが素敵でした。私も見習っていきたいです。（一年　山内恵実）

♪恋するフォーチュンクッキー

本校生徒４名で
♪　レット・イット・ゴー

ボランティア報告

青山学院　交流プロジェクト　in　みやこ
青山　ＤＡＹ交流会に参加して

　八月二日(日)、三年二名(倉部、松本)、二年三名(加藤、皆川、赤沼)、一年六名(澤田、田村、山本、高坂、田嶋、山内)に職員二名(松場、山口)の合計十三名で、青山学院主催のイベントの手伝いボランティアに参加しました。

　青山学院女子短期大学では、震災以後数度に渡り宮古を訪れ、教育や文化活動への支援を行っていたそうです。今回は、これまでの短大生のみならず大学生、高等部生(短大とは別に宮古高校と交流)等が八月一日～七日までグリーンピア三陸みやこに宿泊しながら、施設訪問や被災地研修をされました。さらに今回は、学院の卒業生で玩具メーカーを経営されている方が、宮古のゆるキャラ、サーモンくんとみやこちゃんを高さ八メートルのバルーン遊具として製作され、これを宮古市に寄贈するというプログラムも加えられました。私たちが参加したのは、このバルーン遊具にストラックアウトや巨大ジェンガなどを加えた遊具で、子どもたちに遊んでもらおうというイベントでした。

　十時にグリーンピア体育館に集合、宮古北高校が一番乗りでした。その後、宮古高校の執行部を中心とした二十名程と、青山学院の高等部生、短大生、それぞれの職員を加え総勢約七十名となりました。

　はじめに女子短大の吉岡康子准教授からイベントの内容が説明され、次いで、七十名でいすを使わないフルーツバスケット風のゲームをして雰囲気を和らげた後準備に入りました。各校の生徒を上手に振り分けていただき、本校の生徒も一緒になって準備をしました。

　当日は天候に恵まれ、また、グリーンピアのプールに来ていた子どもたちにも遊んでもらい、無料のかき氷の効果もあって大盛況のうちにイベントは終了しました。

　興奮冷めやらぬ雰囲気の中、全員で記念写真を撮りました。かけ声は「宮古のミ」。

　しかし、話はこれで終わりませんでした。高等部の生徒会長から、「高校生だけでこの後交流会をしましょう」と声を掛けられ、宮古高校と本校生徒は、会議室へと連れられていきました。高等部の生徒たちはさすが都会っ子で次々と質問をしてきます。本校は、急遽現地参加の赤沼くんが答弁。普段だと先生が助けてくれるところですが、上手に応えてくれるではありませんか。「同じ高校生、やればできる」ですね。見直しました。

　単に準備やら、お手伝いやらと思って参加しましたが、高校生との交流という思わぬおまけをもらい、得難い経験をさせていただきました。生徒たちにも素敵な青春の一ページになったことと思います。

（文責　副校長松場）

上　当日の様子
右　集合写真

宮古北高校　学校へ行こう週間

　開かれた学校づくりの一環として、授業・部活動を始めとした本校の日常の教育活動を広く地域住民に理解していただく機会です。
　ぜひ学校へお越し下さい。

期日：九月二十二日（月）～
　　　九月二十七日（土）
時間：九時三十分～十六時三十分
　※二十五日（木）午後・二十六日（金）は
　　宮北祭準備
　※二十七日（土）は
　　宮北祭（一般公開十時～十四時）

　この新聞の記事以外の、宮古北高校に関する情報については公式サイトをご覧ください。
アドレスは以下の通りです。

◎岩手県立宮古北高等学校　公式サイト　**パソコン・スマートフォンから見ることができます**

アドレス　http://www2.iwate-ed.jp/myn-h/index.html